

4ゲームショートセットのルール詳細

《JTA ルールブックより抜粋》

P.31 ルールオブテニスより

1. ショートセット

相手より2ゲーム以上離して先に4ゲーム取ったプレーヤー・チームがそのセットの勝者となる。
4ゲームオールになった時はタイブレーク・ゲームを行う。

具体例→4-0、4-1、4-2は、ここで決着。

3-3になったら、4-3では2ゲーム差ついていないので終わらせず、5-3で決着。

4-4になったら、タイブレークに入る。(タイブレークは下記に紹介する5ポイント)

2. ショートセットタイブレーク

ショートセットのみで試合を行う場合、ショートセットタイブレーク方式を採用することができる。
最初に5ポイント、4オールになった場合はディサイディングポイントを取ったプレーヤー・チームがそのゲームとセットを獲得する。プレーヤー・チームは最初の4ポイントをプレーした後のみ、エンドを交代する。

(ダブルスのサービスは、1セットマッチの通常のタイブレーク方式の順番に従う)

※ディサイディングポイントとは、レシーバーにサイドをチョイスさせ、1ポイントで勝敗を決するポイントのことです。(ノードの40-40のイメージと同様)

以上のルールに加え、選手には次のことも意識するように周知する

《熱中症対策について》

- 必ず別紙の神奈川県高体連テニス専門部で出している「暑さのトラブルを防ぐために」を読んでから大会に参加してください。
- 「氷入りの水筒」や「クーラーボックス」など、炎天下でも冷たい飲み物等、体を冷やすものを準備して会場に行ってください。
- 飲み物は、「お茶」や「みず」ではなく、アミノ酸や塩分が補給できるものを持参してください。
- 会場では、試合の合間にエアコンが聞いた部屋などを積極的に利用し、体温が上がり過ぎないように注意してください。
- 体調が優れない場合は、熱中症のリスクが上がります。試合前日から体調管理をしっかりと行ってください。特に寝不足や食事抜きは危険です。